



年 組 名 前

道新 ワークシート

佐呂間町サポーターズ倶楽部

「応援者」3千人突破

特産品贈呈好評 新企画でPR強化

【佐呂間】町外の人に佐呂間の応援団になってもらう町のサポーターズ倶楽部の登録者が、1日現在で3019人に達した。特産品を抽選でプレゼントする企画などが好評で、町は3千人突破を記念し、新年度に新たな取り組みを始める計画だ。

(梁井朗)

サポーターズ倶楽部は2015年に発足。佐呂間ゆかりの町外在住者や、サロマ湖100キロウルトラマラソンなどで来町した人に呼びかけるなどして登録者を増やし、現在は全都道府県に会員がいる。登録料や会費は無料。「四季だより」や特産品情報を年4回送るのをはじめ、サロマ湖産力キやホタテが当たる抽選会を実施、特産品を取り寄せた人に抽選で送料の半額割引などの特典がある。

また、町内に宿泊した際には2千円程度の特産品が贈られるほか、協賛店で割引サービスが受けられる。新型コロナウイルスの感染拡大で来町者は少なくなっているが、会員からは「コロナが落ち着いたらまた訪れたい」「応援しています」

といったメッセージが町に届いているという。

町は3千人突破を記念し、新たな企画を新年度に計画。会員限定の写真・動画コンテストなどを行い、入賞者には佐呂間の特産品を贈る。さらに、会員制交流サイト（SNS）のツイッターやインスタグラムのアカウントも開設し、PR強化を図っている。

サポーターズ倶楽部の入会申込書付きパンフレットと抽選会のちらし



過疎化や少子化に伴って町内の人口は昨年11月に5千人を割り、減少が進む。武田温友町長は「倶楽部登録者と合わせた『関係人口』という見方でみれば右肩上がり。都会の方が佐呂間を心のふるさととして、大切にしていくくれたら」と話し、今後も手作りの交流を進めていきたいとしている。

2021年3月6日(土) 朝刊 地方 北見・オホーツク 14P(記事は一部再編集しています)

- ① どうして佐呂間町サポーターズ倶楽部を行っているのか、「関係人口」という言葉を使って説明しなさい。
- ② あなたの住む町にサポーターズ倶楽部があったとしたら、どんな機会に、どのような人に 会員登録を呼びかけるか。他地域からの来場者が多いものを中心に考えなさい。
- ③ あなたの住む町でサポーターズ倶楽部の会員に紹介したい特産品は何か、理由を付けて説明しなさい。